



わあ、好きだ人だちど、
ずっと一緒に働きてえです。
まんだいっぺえお客さんさ
来てもらいてえんです。
三味線弾がせてください！

駒井蓮 主演

映画「いとみち」

6月18日(金)

青森県先行公開



平川市出身の女優、駒井蓮さんが主演を務める映画「いとみち」が6月18日にいよいよ公開されます(全国公開は6月25日)。撮影はすべて青森県内で行われ、監督を務めたのは青森市出身の横浜聡子さん。さらに、古坂大魔王さんやジョナゴールドさん(りんご娘)といった、青森、そして津軽に縁のある多くの方々も出演され、まさに青森への想いが詰まった作品となっています。ぜひ映画館へ足を運んで、いとやその家族、周りの仲間たちの成長の物語をご覧ください！



STORY

“いとみち”とは三味線を弾くときに指にできる糸道のこと。そこから名前の由来をもつ相馬いとは、青森県弘前の高校に通う高校生。祖母と今は亡き母から引き継いだ、津軽三味線という特技があるが、強い津軽弁訛りと人見知りのせいで、本当の自分は誰にも見せられず、友人もいない。そこで、思い切って始めたアルバイト先は、なんとメイドカフェ。少しあやしげな店長、先輩メイドたちにシングルマザーの幸子、漫画家を目指す智美、そして風変りな常連客たち。メイドカフェで働く娘を心配しつつ見守る父親も登場し、いとのが成長を描く。メイド服で津軽三味線をかき鳴らすいとが、本当の自分を解放する時、自分らしく、色鮮やかな人生を織りなしていく！

CAST



相馬 いと (駒井 蓮)

16歳の高校1年生。

祖母～母から受け継いだ特技の津軽三味線は、青森県の大会で受賞する腕前だが、足を大きく開く演奏スタイルを恥ずかしく思っている。幼いころに母を亡くし、祖母、父と3人暮らし。制服の可愛らしさに憧れて、津軽メイド珈琲店でバイトを始める。



相馬 耕一 (豊川 悦司)

いとのお父さん。民族学者で、大学教授でもある。

生まれは東京。

義母ハツエの濃厚な津軽弁は、まだ聞き取れないこともある。

亡き妻の仏前に毎朝コーヒーを供えている。



実は… こんな人も出演します！

有名な役者の方が勢ぞろいですが、中でも主人公の駒井蓮さんの演技はとても素晴らしかったです。三味線演奏シーンでは撮影スタッフ全員が魅了されてしまいました。他にも見どころ満載の映画なので、皆さんぜひ劇場に足を運んでください！



平川市職員7年目

石郷 伸明さん

いとがアルバイトをする津軽メイド珈琲店の常連さんとして出演しています。ボーダー柄の衣装が目印です！

映画の情報は公式ホームページやツイッターで発信されていますので、チェックしてみてください。

映画「いとみち」公式ホームページ
<http://www.itomichi.com/>



アカウント名
@itomichi_movie



映画「いとみち」予告編動画はこちら！

